

* 関 勝 則 「私の昭和時代」 探訪。

《25》 昭和47(1972)年 横浜市営地下鉄開通 その歴史 3

昭和60(1985)年3月、第3次開業により上永谷駅から下永谷、舞岡駅へ。横浜駅から三ツ沢下町、三ツ沢上町、片倉町、岸根公園、新横浜駅へそれぞれ延伸、20.5km、19駅となった横浜市営地下鉄は、舞岡より先への工事を急ピッチで進め、新横浜より先の事業免許の取得に努めました。

昭和62年5月24日、副都心としての発展が期待されていた戸塚と直結。当時人気のあった野球漫画「タッチ」のヒロインを起用し「戸塚にタッチ」のポスターを大々的に掲出し、舞岡～戸塚間が開通しました。戸塚駅周辺は柏尾川の下をくぐりJR戸塚駅のホームの下に入り込むという難工事の未開業を果たしたものの、6両編成のうち2両がホームに入り切れないため、戸塚駅は舞岡寄りのドアを閉じたままの暫定開業。本格開業は2年以上も後になりました。

戸塚駅は関東の鉄道駅で初めて「全面禁煙駅」としましたが、市営地下鉄ではすでに昭和60年からラッシュ時の禁煙タイムを実施。戸塚駅では全日禁煙をスタートさせました。この試みがやがて全駅に広がっていきました。横浜の中心である関内や横浜と、副都心を結んだ横浜市営地下鉄は、その後もさらなる進化を遂げていきます。

昭和をテーマとしていますが、引き続き平成から令和に向けた横浜市営地下鉄の歴史を探訪していきます。

平成元(1989)年、平成の改元とともに横浜市政100周年・横浜開港130周年記念の「横浜博覧会(YES' 89)」を開催。その会期中の8月27日にJR戸塚駅の直下部分が完成し戸塚駅が本開業。この年は金沢シーサイドラインが開業し、横浜ベイブリッジが開通しています。

平成5(1993)年3月18日には着工から6年を経て、新横浜～あざみ野間のあざみ野線10.9kmが延伸。新横浜駅から新横浜北(後に北新横浜に改名)、新羽、仲町台、センター南、センター北、中川、あざみ野駅まで間、新羽からセンター北までは地上駅で地上2階、3階の高架駅となりました。あざみ野駅での田園都市線との接続により、港北ニュータウンと都心部の直結が実現。遅れがちだったニュータウンの開発のけん引役を果たしました。

平成11(1999)年8月29日、戸塚駅と藤沢市の小田急線江ノ島線湘南台駅を結ぶ湘南台線が開通しました。この区間に加わった踊場、中田、立場、下飯田駅を合わせて全32駅。

昭和40(1965)年に計画された「横浜市高速鉄道計画」の4路線のうち、1号線と3号線の一部が一つの路線となり、総延長距離が40.4km。地下鉄路線としては東京都交通局(都営地下鉄)大江戸線の40.7kmに次いで日本で2番目に長い距離の地下鉄になりました。



未来選択選挙 第49回 衆議院議員総選挙

2021年10月18日公示 10月31日投開票

神奈川1区(磯子・中・金沢区) 結果